

地域包括ケアを担う看護職の役割に関する文献検討

Literature Review on the Role of Nursing Profession in Community-based Integrated Care

小島美里 宮園真美

福岡看護大学 看護学部 地域・在宅看護部門

抄 録

本研究では、地域包括ケアにおける看護職の役割に関する文献を検討し、研究の動向と看護職の役割を明らかにし、これからの地域包括ケア時代に看護職が担うべき役割への示唆を得ることを目的とした。文献検索は医学中央雑誌 web 版を使用し、「地域包括ケア」and「看護職」and「役割」で検索した（2023 年 8 月検索実施）。ヒットした文献を原著論文に絞り込み、除外論文を除外し、最終的に 10 文献を分析対象とした。地域包括ケアにおける看護職の役割について、期待される役割や必要と考えられる役割の報告は散見される一方で、実施状況の調査は僅かであった。分析の結果、地域の看護職の役割は【実際の看護を提供】【地域を支援する】【多職種連携】であり、就業場所が異なっても共通する役割であった。【実際の看護の提供】に含まれていた〈在宅療養支援〉と【地域を支援する】役割は、病院の看護職にはない役割で、地域の看護職に特有の役割であると考えられた。以上のことより、今後は、地域包括ケアを担う看護職の役割に関する研究の蓄積が必要であり、役割の実施状況の把握と、実施を促進する要因および阻害する要因を明らかにする必要があると考えられた。

キーワード：地域包括ケア, 看護職, 役割

緒 言

わが国は、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年を目途に、地域包括ケアシステムの構築を推進している¹⁾。地域包括ケアシステムとは、住み慣れた場所で最期まで暮らし続ける社会を目指した医療・福祉・介護を連携させたシステムである。住み慣れた地域で暮らし続けるためには、自宅や高齢者住宅等の住まいで医療を受けられる在宅医療制度の強化が必要である。このような背景を受けて、日本看護協会は 2021 年から地域における健康と療養支援体制の強化に向けた重点事業を開始しており²⁾、地域の中で看護の力を発揮することを求めている。2020 年の調査結果³⁾によると、看護職の就業場所は、病院 60.5%、診療所

18.8%、訪問看護ステーション 3.6%、看護老人保健施設 2.9%、介護老人福祉施設 2.6%、居宅サービス等 4.2%などとなっており、訪問看護や居宅サービスの従事者は 3~4%前後である。現在は地域包括ケアに携わる看護職の割合は少ないが、今後は、多くの看護職が病院から地域へと活動の場を移していくと考えられる。これからの地域包括ケア時代に、看護職がどのような役割を担うのかは、検討が始まった段階である⁴⁾⁵⁾。

以上のことから本研究では、文献検討により、地域包括ケアにおける看護職の役割を明らかにし、これからの地域包括ケア時代に看護職が担うべき役割への示唆を得ることを目的とした。

研究方法

1. 対象文献の選出方法

文献検索は、2023年8月に実施した。文献データベースは、医学中央雑誌 web 版を用いた。わが国の看護職の役割を明らかにすることから、国内文献を対象とした。検索のキーワードは「地域包括ケア and 看護職 and 役割」とし、地域包括ケアに関する文献を網羅するために文献の対象年の絞り込みは行わなかった。検索の結果、957 文献が抽出された。この 957 件を「原著論文」で絞り込むと、91 件であった。抄録を読み、地域包括ケアを担う看護職の役割に関する内容が含まれている文献を対象とし、(1)地域包括ケア病棟の看護職を対象とした文献、(2)看護実習がテーマの文献、(3)看護職の役割についての記述がない文献を除外した。山崎らの調査⁶⁾は、斜森ら⁷⁾の研究結果を参考にして質問紙を作成していたことから、地域包括ケアを担う看護職の役割を検討するために必要な文献だと判断し、斜森ら⁷⁾の文献を対象に追加した。最終的に 10 文献を分析対象とした。

2. 分析方法

対象文献を精読し、「看護職の役割」の内容が記述されている箇所を抽出した。そして、意味内容が類似するものを集約しサブカテゴリー、カテゴリー化を行った。カテゴリーを【 】サブカテゴリーを〈 〉で示す。

3. 用語の定義「地域包括ケア」

「地域包括ケア」とは、病院以外の地域において、住まい・医療・介護・予防・生活支援等が連携して、住民に切れ目なく提供される包括的な支援・サービス¹⁾のことである。

結 果

対象文献の目的、研究対象者、抽出された看護職の役割の内容、サブカテゴリー、カテゴリーを表に示した。

1. 研究の動向

対象文献の研究対象者は、診療所看護師が 4 件、地域包括支援センター保健師、在宅ホス

ピス看護師、外来看護師、地域密着型サービスに勤務する看護師、特別養護老人ホーム・病院の退院支援部署・訪問看護ステーションの看護職がそれぞれ 1 件であった。そして、地域包括ケアシステムにおいて看護師に求められる能力に関する文献が 1 件であった。インタビュー調査が 3 件、質問紙調査が 2 件、文献検討が 4 件、寄稿論文が 1 件であった。対象文献のうち、看護職の役割の実施状況について調査した研究は 2 件で、その他の 8 件は看護職に「期待される役割」や「求められる能力」を検討したものであった。対象文献の発表年は、2015 年 1 件、2016 年 1 件、2018 年 2 件、2019 年 1 件、2020 年 1 件、2021 年 2 件、2022 年 2 件であった。

2. 地域包括ケアにおける看護職の役割

分析の結果、地域包括ケアにおける看護職の役割は、【実際の看護の提供】【地域を支援する】【多職種連携】の 3 つのカテゴリーに集約された。

〈患者・家族を支援〉〈在宅療養支援〉〈必要な看護の提供〉という看護職の役割は、看護の提供を行っていることから、【実際の看護の提供】とカテゴリー化した。診療所における看護師の役割を調査した研究では、〈患者・家族を支援〉することに関して、短時間で情報収集とアセスメントをするという役割と指導するという役割が必要不可欠である⁸⁾と報告している。地域密着型サービスにおける看護職の役割としては、医療職ではない専門職や一般住民へ受け入れられる指導や助言といった「教育」の重要性⁹⁾が示されている。また、看護職には「人々が住み慣れた場所で安心して療養でき、最期を迎える」支援⁶⁾⁷⁾や、「看取りケア・認知症ケア・ケアマネジメント」¹⁰⁾を行うことによって〈在宅療養支援〉を実施する役割が期待されていた。そして、看護職には「身体状況の把握や治療継続の支援とモニタリング」¹¹⁾「症状マネジメントと心身ともに癒やすケア技術」⁴⁾や「日常生活や健康管理の視点をもった看護提供」¹⁰⁾などの〈必要な看護の提供〉という役割も期待されていた。

〈地域を包括的に捉える〉〈地域づくり〉
〈地域の健康問題に対処する〉という看護職の役割は、看護職として地域を支援していることから【地域を支援する】とカテゴリー化した。地域包括ケアシステムに関わる看護職には、地域を看ることや、対象の生活と保健・医療・福祉をつなぐことなど、〈地域を包括的に捉える〉役割が求められていた。診療所における看護職の役割を調査した研究では、地域包括ケアシステムの構築を目指すには、看護職が地域の健康問題を把握し、地域住民全体を視野に入れ、看護師役割を実施する必要がある⁶⁾と報告されている。永田⁹⁾は、たとえ認知症になり終末の状態になっても、病院、施設、自宅、地域密着型のどこを選択しても安心できる〈地域づくり〉に看護の専門性を発揮することが期待されていると述べている。

対象文献10件中7件で、「多職種と連携する」「多職種と協働する」など、多職種との連携・協働に関する記述があった。意味内容が変わらないように、サブカテゴリー〈多職種と連携・協働する〉カテゴリー【多職種連携】と命名した。宇田ら¹²⁾は、地域包括ケアを推進するには、看護職が多職種・多機関連携を積極的に行うことが重要であると報告している。地域包括支援センターの保健師を対象とした研究では、地域ケア会議での意見交換を行うことが、お互いの専門性の理解や、効果的に対象者の生活を支えることにつながる¹¹⁾と述べている。先行研究において、多職種連携を担う看護職の就業場所は、診療所、地域包括支援センター、在宅ホスピス、特別養護老人ホーム、病院の退院支援部署、訪問看護ステーションなどと多様であり、様々な場所で看護職が【多職種連携】を実施することが必要であると報告されていた。

考 察

1. 地域包括ケアにおける看護職の役割に関する研究の動向

今回の文献検討で対象に該当した論文は10件であり、地域包括ケアにおける看護職の役

割に関する研究は蓄積が少ないことが分かった。地域包括ケアの概念が示されたのは2011年であるが、横井ら⁸⁾は、診療所看護職の役割に関する先行研究は活動報告がほとんどで研究は不十分であり、藤井ら⁴⁾は、事例紹介がほとんどで研究的に役割を明らかにした文献は僅かであると述べている。今後は、地域で活動する看護職の役割を研究として明らかにしていく必要がある。今回、訪問看護ステーションの看護職を対象とした文献は、1件のみであった。「地域包括ケア」and「訪問看護師」and「役割」で検索したが、該当する文献は見当たらなかった。その理由としては、訪問看護は医療的ニーズのある個人を対象とした活動であること、医療処置が必要なくなると訪問も終了することから、訪問看護だけで支援が完結することが多いのではないかと推察された。今後は、地域包括ケアにおける訪問看護師の役割も明らかにする必要がある⁵⁾。

対象文献のなかで、看護職の役割の実施状況を調査した研究は2件で、その他は「期待される役割」や「求められる能力」を検討したものであり、どの程度役割が実施されているのかは、僅かしか把握されていない。宇田ら¹²⁾は、診療所看護師の役割がどの程度実践されているかは明らかになっていないと述べており、藤井ら⁴⁾は、在宅ホスピスにおける看護の役割について研究的に明らかにした文献は僅かで、在宅ホスピスの取り組み事例の紹介や、専門家や実践家が必要性を伝えるような内容が中心であると述べている。

このように、看護職に期待される役割の提案は散見される一方、実施状況の実態調査は僅かである。今後は、地域包括ケアを担う看護職が、実際にどんな役割をどの程度実施しているのか、実態を明らかにする必要がある。

2. 地域包括ケアにおける看護職の役割

地域包括ケアにおいて、地域の看護職は【実際の看護を提供】【地域を支援する】【多職種連携】という役割を期待されていることが分かった。【実際の看護を提供】する役割の中で、〈患者・家族に指導〉と〈必要な看護の

提供)は、病院でも地域でも期待される役割であるが、地域の看護職には〈在宅療養支援〉の役割も期待されていることがわかった。しかし、在宅療養支援に先進的に取り組んでいる病院であっても、外来看護師は地域関係者・機関と連絡を取る機会が少なく、在宅療養支援の実施は2割～半数に満たない¹³⁾ことが報告されている。このことから、一般的な外来では、在宅療養支援の実施はさらに少ないことが推察される。また、神経内科を標榜する診療所の調査では、看護師の約7割が地域連携を実施していたが看護の判断ではなく医師の求めに対応して実施していた¹⁴⁾。このことから、一般内科の診療所では、看護の判断による地域連携は少ないことが推察される。横内ら¹³⁾は、在宅療養支援を実施できない要因は、外来という短時間の関わりの中で実施することが困難であることと、地域連携の機会が少ないことであると述べている。

以上のことより、今後は一般的な病院の外来や一般内科診療所における在宅療養支援の実施状況を明らかにすることと、在宅療養支援を促進する要因や阻害する要因を明らかにすることが重要である。

地域の看護職には、〈地域を包括的にとらえる〉ことによって、〈地域づくり〉にむけて働きかけを行い、〈地域の健康問題に対処する〉という役割が期待されていることが分かった。これらの【地域を支援する】役割は、病院の看護職にはない役割である。個人やその家族を対象とすることにとどまらず、療養者が住まう地域をも視野に入れ、地域づくりに向けて働きかける⁴⁾ことも、これからの地域包括ケア時代において、地域の看護職が担う役割のひとつであると考えられた。

しかし、山崎ら⁶⁾の診療所看護師の役割に関する実態調査では、「地域の健康問題に対処する役割」の実施率は低く、「地域住民に発信する役割」は実施されていなかったと報告している。診療所看護師は地域包括システムの拡充を意識してケア展開していない¹⁵⁾ことも報告されており、今後は、地域で活動する看護

職の地域志向を育む要因を明らかにする必要があると考える。

〈多職種と連携・協働する〉役割は、診療所、地域包括支援センター、在宅ホスピスなど、看護職の就業場所が異なっても共通している役割であった。横井ら⁸⁾は、2013年以前の文献では多職種と連携するという役割について言及されていないことを踏まえ、多職種連携は、地域包括ケアシステムの推進に伴い新たに期待されるようになった役割であると示唆している。【多職種連携】は、病院でも地域でも看護職に求められる役割であるが、地域の看護職は施設介護者やケアマネージャーなど⁸⁾、病院よりも多種多様な職種と連携すると考えられる。

しかし、多職種連携は重要だと認識していても実際には実施されていない⁶⁾¹⁶⁾ことや、医師の求めに対応して実施している¹⁴⁾ことが報告されており、多職種連携の難しさが読み取れる。宇田ら¹²⁾は課題として、①看護職の不足②地域医療を担う看護職の意識と能力の強化③地域包括ケアを推進できる看護職の育成④高齢者支援の困難性、をあげており、多職種連携の実施に影響する要因には、看護職の意識のみでなく、人員や時間の制限も考慮する必要があると考える。

地域包括ケアにおいて看護職に期待される役割が明らかとなった。一方で、その役割の実施状況はほとんど把握されていなかった。今後は、実態を把握すると共に、役割遂行を促進する要因及び阻害する要因に関しても研究の蓄積が必要であると考えられる。

結 語

1. 地域包括ケアにおける看護職の役割について、実施状況の調査は僅かであった
2. 地域包括ケアにおける看護職の役割は、【実際の看護の提供】【地域を支援する】【多職種連携】であった
3. 今後は、地域包括ケアにおける看護職の役割実施の実態を把握するとともに、実施と関連する要因を明らかにする必要がある

本研究において利益相反事項はない。

引用文献

- 1) 厚生労働省：地域包括ケアシステム,<https://www.mhlw.go.jp> (2023年9月22日)
- 2) 日本看護協会：看護政策の動き 重点政策・事業,<https://www.nurse.or.jp> (2023年9月22日)
- 3) 日本看護協会：看護統計資料 I就業状況 1.就業者数,<https://www.nurse.or.jp> (2023年9月22日)
- 4) 藤井麻帆,平田すが子,前田隆子：在宅ホスピスにおける看護の役割に関する文献検討.鳥取看護大学・鳥取短期大学研究紀要,76,1-8,2018
- 5) 西岡ひとみ：フランス在宅入院制度(HAD)からみたわが国の地域包括ケアシステムにおける訪問看護師の役割と課題,埼玉医科大学看護学科紀要,10(1),57-62,2017
- 6) 山崎智可,笹井佐也香,藤井悠希他：人口減少かつ高齢化が進む能登北部医療圏の診療所看護師の役割についての実態調査.石川看護雑誌,19,77-84,2022
- 7) 斜森亜沙子,森山美和子：わが国のプライマリ・ケア機能を担う診療所における看護師の担うべき役割と必要な能力.日本プライマリ・ケア連合学会誌,38(2),102-110,2015
- 8) 横井弓枝：診療所看護師の役割に関する文献レビュー：2014年以降の文献を対象として.天理医療大学紀要,9(1),42-52,2021
- 9) 永田千鶴：地域密着型サービスが地域包括ケアシステムで果たす機能と看護職の役割.老年看護学,21(1),5-9,2016
- 10) 星美鈴,佐々木晶世,杉本健太郎他：地域包括ケアシステムに貢献できる看護職に必要なコンピテンシー.日本看護管理学会誌,26(1),150-158,2022
- 11) 両羽美穂子,橋本麻由里,宗宮真理子他：地域包括ケアシステムにおける地域包括ケアセンター保健師のマネジメント機能.岐阜県立看護大学紀要,18(1),89-100,2018
- 12) 宇田優子,石塚敏子,稲垣千文他：神経内科を標榜する診療所看護師の地域包括ケアシステム構築に関わる課題～地域連携と個別対応に着目した調査から～.日本プライマリ・ケア連合学会誌,44(3),106-115,2021
- 13) 横内理乃,泉宗美恵,依田純子他：外来看護における在宅療養支援に関する文献検討.山梨県立大学看護学部・看護学研究科研究ジャーナル,5,45-56,2019
- 14) 海野潔美,田村麻里子,村井文江：地域包括ケアシステムにおいて看護師に求められる能力に関する文献検討.常盤看護学研究雑誌,2,63-73,2020
- 15) 青木慶子：福祉・医療の現場から 診療所看護職のプライマリケアの実践と地域包括ケアシステム推進との関連性.地域ケアリング,24(8),87-91,2022
- 16) Tateishi M, Nakanishi K, Takehara K *et al* : Nursing activities at clinics in rural areas in Japan: gaps between recognition of importance and implementation. Nagoya Journal of Medical Science,82(2),251-260,2020

表 地域包括ケアを担う看護職の役割

カテゴリ	サブカテゴリ	文献7)	文献28)	文献312)	文献46)	文献59)	文献611)	文献74)	文献813)	文献914)	文献1010)
【実際の看護の提供】	サブカテゴリ	目的：プライマリ・ケアを担う診療所の果たす機能を明確にし、それに沿って、診療所におけるプライマリ・ケア看護師の役割を抽出し、その遂行のために必要とされる能力を明らかにすること 対象：診療所看護師	目的：2014年以降に報告された診療所看護師の役割に関する文献をレビューし、役割を明らかにすること 対象：療所看護師	目的：神経内科診療所看護職の地域連携と個別対応の実施状況および地域包括ケア構築に取組むうえでの診療内科診療所看護師が考えている課題を把握すること 対象：診療所看護師	目的：人口減少かつ高齢化が進む能登北部医療圏において、地域包括ケアシステムの構築を見据え、診療所看護師の実施状況を確認すること 対象：診療所看護師	目的：2つの地域密着型に着目し、地域密着型の機能と看護職の役割について述べる 対象：地域密着型サービス看護師	目的：地域包括支援センターに所属する保健師の実践に焦点を当て、地域包括ケアシステムにおける保健師のマネジメント機能を明らかにすること 対象：地域包括ケアセンター保健師	目的：在宅ホスピスにおける看護の役割を明らかにすること 対象：在宅ホスピス看護師	目的：外来の在宅療養支援に関する研究の動向を明らかにし、今後の外来看護における在宅療養支援の研究課題を見出すこと 対象：外来看護師	目的：わが国の地域包括ケアシステムにおいて求められる看護職の能力を文献より明らかにすること 対象：特別養護老人ホーム・退院支援部署・訪問看護ステーション	目的：地域包括ケアシステムに貢献できる看護職に必要な компетенションを明らかにすること 対象：特別養護老人ホーム・退院支援部署・訪問看護ステーション
	〈患者・家族を支援〉	期待される役割 ●個人及び家族の健康を守る	期待される役割 ●患者・家族に指導する	実施状況調査 ●個別対応	実施状況調査	期待される役割 ●教育	期待される役割	期待される役割 ●家族支援・遺族ケア	期待される役割 ●在宅療養支援	求められる能力	期待される役割 ●合意形成の実施
	〈在宅療養支援〉	●人々が住み慣れた場所で安心して療養でき、最期を迎えることを支援する		●人々が住み慣れた場所で安心して療養でき、最期を迎えることを支援する					●在宅療養支援		●看取り対応 ●認知症ケア ●ケアマネジメントと移行支援
	〈必要な看護の提供〉					●予防から緊急時の直接的な看護の提供	●身体状況の把握や治療継続の支援とモニタリング	●症状マネジメント ●心身ともに癒やすケア技術		●対象の生活の場で必要な看護をする	●日常生活や健康管理の視点をもった看護提供 ●アセスメント
	〈地域の健康問題に対処する〉	●地域の健康問題に対処する			●地域の健康問題に対処する	●地域づくり					
【地域を支援する】	〈地域づくり〉				●地域住民に発信する			●看取りができる地域社会となるよう働きかける			
	〈地域を包括的にとらえる〉						●地域を視野に入れ、地域づくりに向けて働きかける	●多職種との連携・パートナーシップ		●地域を看護職として包括的にとらえる	●地域包括ケアにおける看護職としての役割自覚
【多職種連携】	〈多職種と連携・協働する〉		●多職種と連携する	●地域連携	●多職種連携		●医師等他専門職との連携・協働	●多職種との連携・パートナーシップ		●多職種と協働する	●多職種連携 ●介護職との関わり ●看護職同士の連携

●：看護職の役割の内容

Literature Review on Role of Nursing Profession in Community-based Integrated Care

Misato Kojima, Mami Miyazono

Fukuoka Nursing College, Faculty of Nursing, Department of Nursing, Division of Community Health and Home Care Nursing

Keywords: Community-based integrated care, Nursing profession, Roles

The aim of this study was to review existing literature on the role of the nursing profession in community-based integrated care. The primary objectives include identifying research trends, delineating the roles of the nursing profession, and offering suggestions for the evolving responsibilities of the nursing profession in the era of community-based integrated care. The literature search was conducted using Ichushi Web, employing the keywords "community-based integrated care," "nursing profession," and "role." A total of 10 papers were chosen for the analysis. While there were scattered reports of the role of the nursing profession in community-based integrated care, the literature lacked in-depth surveys on the status of role implementation. The analysis revealed that the roles of community nurses encompassed [providing actual nursing care], [supporting the community], and [engaging in multidisciplinary collaboration], which were common roles even when the place of employment was different. The roles of "support for home care" and "support for the community," within the broader category of "provision of actual nursing care," were considered to be unique to community nurses, distinguishing them from hospital nurses. To conclude, it is necessary to accumulate knowledge on the evolving roles of nurses in community-based comprehensive care. It is crucial to understand the implementation status of these roles and to identify factors that promote or hinder its implementation.